

2015. 10

vol. 107

改訂版 vol. 37

女性委員会だより

らくだ



公益社団法人 岐阜県建築士会

〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14番12号

岐阜県シンクタンク庁舎4階

〈電話〉(058) 215-9361 〈FAX〉(058) 215-9367



今回の記事

◇はじめに

◇今回の記事

◇今後の予定・お知らせ

◇東海北陸ブロック会 女性建築士協議会
平成27年度前期定例(三重)会議

日時:平成27年6月20日(土)

◇研修会「火災予防の話～火事を出さないために」

日 時:平成27年7月16日(木)

◇研修会 大塚家具見学会

日時:平成27年9月17日(木)

◇平成27年度 第25回全国女性建築士連絡協議会

日 時:平成27年9月25日(金)～26日(土)

◇第35回建築文化講演会

日時:平成27年10月17日(土)

◇建築士の日フェスティバル

日時:平成27年10月18日(日)

◇お知らせ

◇編集後記



今後の予定・お知らせ

◆ 東海北陸ブロック女性建築士協議会後期定例会議

日時:平成28年 2月20日(土)～21日(日)

会場:名古屋街づくり公社

名古屋都市センター11階

住所:名古屋市中区銀山長1-1-1

金山南ビル内

内容: 一日目は、毎年開催の「わたらしい住
まいづくり」の作品展を観覧

二日目、後期定例会議と見学会

副委員長 桂川麻里

女性委員会で行われるセミナーや見学会には度々参加させて頂いていましたが、2年前に女性委員会に入り、今年度女性副委員長をさせて頂いている桂川です。

女性委員会に入ろうと思ったきっかけは、参加させて頂いていたセミナー等が他の講習会にはない女性目線の内容が多く、すぐに実践に活かせるということもさることながら、建築業界に女性が多くなって来たとはいえ、普段は男性ばかりの中で仕事をしているので、男性には分ってもらえない悩みに1人で考え込むこともありましたが、セミナー等の内容以外で委員の皆様の話を知っているうちに同じような苦勞をなさっている方がたくさんいることが分かり、自分のマイナス面がプラスに変換されていることが実感できたからです。

ただセミナー等に参加させて頂いていた時とは違い、全国大会やブロック大会等、分からないことがたくさんある中、副委員長になっては皆さんに迷惑をかけてしまうと思いましたが、仕事と家庭と委員会と大変な中、良くしていただいている先輩方に少しでもお役に立てればと受けさせて頂きました。

今年度の行事はまだありますので、楽しみながら頑張っていきたいと思います。

皆さんよろしくお祈りします。



東海北陸ブロック会

女性建築士協議会

平成27年度前期定例（三重）会議

日時：平成27年6月20日（土）
午後1時～3時20分

会場：伊勢市の日の出旅館 3階大広間
住所：三重県伊勢市吹上 1-8-5
電話：0596-28-2954
参加者：2名

報告事項：

- ①各県女性委員会今年度活動計画
- ②連合会女性委員会の報告
- ③東海北陸ブロック会の報告
- ④青年建築士協議会の報告

審議事項：

- ①平成26年度後期定例（富山）会議議事録承認の件
- ②平成26年度事業報告承認の件
- ③平成26年度収支決算報告承認の件
- ④平成27年度女性建築士協議会役員（案）承認の件
- ⑤平成27年度事業計画（案）承認の件
- ⑥平成27年度収支予算（案）承認の件

協議事項：

- ②平成27年度ブロック事業の件（愛知県）
- ③女性建築士協議会運営について
- ④その他



建築士会東海北陸ブロック会 女性建築士協議会
平成27年度定例会議（前期三重会議）に参加して

報告者：女性委員長 宇佐美 泉

6月20日（土）、私と森崎麻巳さんは近鉄名古屋駅より観光特急「しまかぜ」に乗って、三重県伊勢市まで行った。「しまかぜ」は、全て3列シート。広々とした座席でゆったりと景色を眺めながら、ちょっと贅沢な気分。

しばらくしてカフェ車両へ移り、珈琲とケーキを食べて、満足満足。今日は、これから会議に出席するのだけれど、これも今回の楽しみでもあったので、とても満足して近鉄伊勢市駅に着いた。

駅から徒歩で5分、会場の「日の出旅館」に着いた。昭和4年創業で、現在では珍しい木造3階建ての純和風旅館。おいしい昼食の後、各部屋を見学させていただきました。

会議は、13：20から3階の和室広間で開始。

[会議式次第]

1. 開会の言葉
2. 開催幹事挨拶
三重県女性委員長 森本 千刈氏
3. 運営委員長挨拶
筒井 裕子氏
4. 来賓挨拶
（一社）三重県建築士会 会長 森本 則晃氏
5. 出席者紹介
各県委員長
6. 議長選出
三重県 大森 尚子氏
7. 議事録作成者及び署名者の指名
8. 報告事項
9. 審議事項

ここまでは、通常の会議でいつものように進んで

いった。これ以降は皆さんにも知っていただきたいので、詳細に報告します。

以上で、前期三重会議は滞りなく終了した。

10. 協議事項

- ・平成 27 年度後期ブロック大会の件

開催日時：平成 28 年 2 月 20 日（土）・21 日（日）

会 場：名古屋街づくり公社

名古屋都市センター11 階

住 所：名古屋市中区銀山長 1-1-1

金山南ビル内

内 容：

一日目は、毎年開催の「わたらしい住まいづくり」の作品展を観覧

二日目、後期定例会議と見学会



(会議の様子)

- ・女性建築士協議会 30 周年記念事業について

平成 31 年開催予定（前期会議開催県の福井県で）

- ・30 周年記念事業の積立金について

平成 27 年度から平成 32 年度までの 6 年間
ブロック事業の旅費にあてていた費用を積立金にあてる。（年 3 万円）

3 万円×6 年間＝18 万円（もし不足が出た場合は、
予備費から補てんする。）



(昼食のお弁当。美味しかったです。)

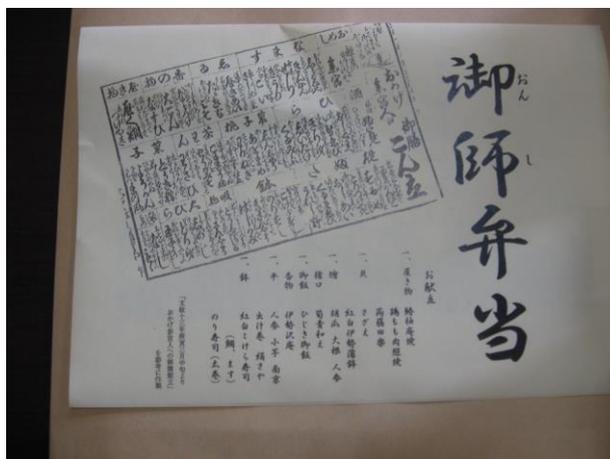
- ・東海北陸ブロック会女性建築士協議会のテーマについて

全国女性建築士連絡協議会 テーマ「未来へつなぐ居住環境づくり」なので、
これにならう。

- ・その他

今回は、オブザーバーとして静岡県から 3 名が参加された。内女性は 1 名。

過去のいきさつはあるにせよ、再び女性委員会を立ち上げたいとの強い思いで参加。ブロックの各県委員長も、応援することを確認。



(お弁当の説明)

1 1. 相談役所見 相談役 山中 路代氏

1 2. 閉会の言葉



研修会「火災予防の話」

～火事を出さないために～

日 時:平成27年7月16日(木)

13:30～15:00

会 場:ふれあい福寿会館 406号室

参加者:9名

講 師:岐阜市岐阜南消防署予防係

火災はとても大変な事で身近な事だということがわかりました。今回の知識を日常業務にも役立てることができると良いと思いました。



(ワークショップでグループ内での話し合い)



(研修の様子)

火災予防の話

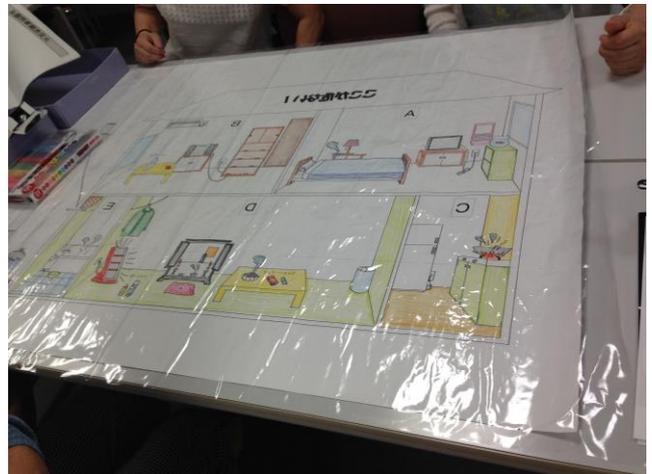
～火事を出さないために～に参加して

報告者: 高野 栄子

岐阜市南消防署の佐藤様を講師にお迎えして、火災予防の話をお聞きました。

はじめに岐阜市内での住宅火災の現状について説明して頂き、次に2組に分かれて机上で住宅内の火災の危険箇所について危険予知訓練をしました。

実際の消防学校の教材映像を見ながら、些細な不注意から起こる出火の危険を確認しました。いつも暮らしている家の中での思いがけない火災の危険があることに気がつきました。



(ワークショップ前の資料)



(ワークショップ後の資料)



研修会 大塚家具見学会

日時:平成27年9月17日(木)

13:30~15:30

会場:大塚家具 名古屋栄ショールーム店

(名古屋市東区東桜1-14-27

電話 052-951-4321)

参加者:9名

大塚家具見学会に参加して

報告者:津川 文江

平成27年9月17日 一時半より名古屋市営にある 大塚家具を見学しました。

1階から8階までに各種の家具が展示されています。

1F・ 現在、人気のアメリカ西海岸のイメージのリゾートスタイルの家具ブース

アメリカ西海岸のイメージの明るく軽快な感じのリゾートスタイルの家具というものを見ることが出来ました。今まで、北欧や南仏の感じばかり思っていました、アメリカ西海岸の家具もあるのだと、いい勉強ができました。

又、カーテン、ブラインド、絨毯のブース、シャンデリアやペンダントの照明器具など実際に見ることができました。

2F・ ソファや、以前工場見学したパモウナの食器棚の展示などもありました。

3F・ イタリア、フランス、イギリス等の輸入家具が展示されており、ボルボネーゼのバックで知っているあの皮素材の 600 万円相当のソファに腰掛けて気分も最高でした。

4F・ 飛騨家具や数々のテーブル等によい一枚板と北欧スタイルの家具が展示されています。大塚家具では、カリモクの家具は、扱っていないそうです。

5F・ アンティーク家具

6F・7F 体感の出来るベッドとマットレス

8F・ 今はあまり売れないそうですが、和ダンス・座卓・婚礼家具など数多く展示してありました。

8F より、1F まで順番に説明を聞きながら展示を見まし

たが、建物の広さと家具の多さで、2時間もかかりました。大塚家具は、高価な家具を扱っていると思い込んでおりましたが、手ごろなお値段の家具もたくさんあり家具探しの折には、ここを利用させていただくもの良いと思います。



(椅子に座って、ユラユラと、楽しいです。)



(ベッドも実際に寝てみて様子をみます。時間があればしっかり寝てみたいものです。)



(椅子の座り心地比べです。)



(喫茶コーナーで一服です)



平成27年度

第25回全国女性建築士連絡協議会

日時:平成27年9月25日(金)~26日(土)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター

(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

電話 03-3469-2525)

参加者:2名



平成27年度 第25回全国女性建築士連絡協議会プログラム

未来へつなぐ居住環境づくり

~次世代へ伝えたい、こと・もの・暮らし~

平成27年9月25日(金)

[全国女性委員長(部会長)会議] 11:00~13:00

於:オリンピックセンター 304号室

[開会式] 13:30~13:55

於:オリンピックセンター小ホール

[基調講演] 全建女の立ち上げと居住環境づくり
13:55~14:35

講師 村上 美奈子(初代連合会女性委員長)

= 休憩 = 14:35~14:50

[パネルディスカッション] 未来の居住環境と暮らし方

14:50~16:20

- ・門田 真乍子
日本色彩学会 名誉会員
(株)カラー集団トータリア 代表取締役
- ・竹林 のぞみ
三井化学株式会社
研究開発本部 R&D 管理部 主席部員
- ・内藤 麻美
日本大学 芸術学部デザイン学科学生
- ・籠田 淳子
有限会社ゼムケンサービス
代表取締役 福岡県建築士会

平成27年9月26日(土)

[分科会]

8:50~10:40

A 分科会「震災①防災への取組み」

B 分科会「震災②ボランティア活動の報告」

C 分科会「歴史的建造物と建物再生」

D 分科会「素材と環境共生住宅」

E 分科会「景観まちづくり」

F 分科会「子どもと住環境」

G 分科会「高齢社会と福祉住宅」

H 分科会「集まって住む」

= 全体会会場へ移動 = 10:40~11:00

[全体会]

11:00~11:30

於:オリンピックセンター小ホール

- ・分科会報告
- ・全体総評
- ・平成27年度全国女性建築士連絡協議会アピール
- ・閉会の辞



(基調講演の様子)

全国女性建築士協議会に参加して

報告者：高野 栄子

9月25日、26日に国立オリンピック青少年記念センターにて行われました、全建女に参加しました。朝からあいにくの雨模様でしたが東京に行って来ました。

【1日目】

AM11:00～ ー全国委員長会議ー

静岡を除く46都道府県の委員長が北から順番に事業報告を行いました。

各県での興味深い活動を知ることが出来ました。平成28年の第26回協議会は奈良県でH27年7月22日(金)23日(土)に開催されます。興味のある方は是非ご参加ください。

PM13:30～開会式

基調講演「全建女の立ち上げと居住環境づくり」

講師：村上美奈氏

パネルディスカッション

テーマ：「未来の住環境と暮らし」

ー意見交換会ー

各県の方々とお話しする良い機会でした。

鹿児島県の方が海津の宝暦治水工事の事の特集した報誌を頂き、お話ししました。

思わぬところでご縁がありました。

【2日目】

AM8:50～分科会

私はE分科会「景観まちづくり」に参加しました。今回は山口県のかたが関門景観条例について発表されました。

海を挟む関門海峡の景観について考え、学ばれている活動を報告されました。

全国各地での建築士の活動を知り、とても良い勉強になりました。



(E分科会の様子)

第25回全建女

G分科会（高齢社会と福祉住宅）に

参加して

報告者：下川 滝美

今年は25年の節目の年ということで、一日目は初代連合会女性委員長の村上氏の全建女立ち上げの講演会を聞きました。

講演会の中で最初からの継続テーマであるのが高齢化問題だといわれました。私が全建女に参加させていただいたのが第15回からだだと思います。

わけもわからずに当時委員長だった河内さんについて行ったことが思い出されます。

全国にこんなにたくさんの女性建築士がいて、私の仕事としている高齢者の問題について全国の方との交流や情報交換ができる分科会があるなんて・・・と当時はとても感激をしました。

以来全建女ではこのG分科会に参加することにしています。

今回は滋賀県で両親と建築事務所を営んでいる方の事例でした。

家族みんなが建築士である中でお父様がくも膜下出血で倒れられ、車いすの生活になったのですが在宅に戻られるにあたり医療・福祉分野の専門職と連携をとり住宅をリフォームされて家族と一緒に過ごしておられるという事例でした。

家族全員が建築士であることで計画が遂行しやすかったことや、思いやりのある温かい家庭で、お父様のことをとても大切にしている様子が伝わってきました。

その後の意見交換では各県の助成の情報や他職種との連携について話し合いが行われました。

岐阜県では私の勤務している岐阜県福祉総合相談センターが、住宅改修の相談窓口になっていることや研修体制もできていることを紹介してもらいました。他県には研修がないということでケアマネの皆さんの住宅改修に関する研修も少ないということでした。

めぐまれた環境の中にある岐阜県の体制をありがたく思い今後も業務に携わっている方々に利用してもらい資質の向上をめざしていきたいと思いました。



(G 分科会の様子)



第35回建築文化講演会

日時:平成27年10月17日(土) 14:30~16:30

会場:岐阜県図書館

(岐阜市宇佐 4-2-1 TEL058-275-5111)

講師: 建築家 中村 拓志 氏

演題: 『ふるまいのデザイン』



(受付の様子)

「ふるまいのデザイン」の文化講演会

報告者: 桂川麻里

毎年建築士会主催で行われる建築文化講演会ですが、私はいつも講演を聴きに来る立場でした。しかし今年初めて女性委員会の一員として受付の仕事を行いました。

この文化講演会は入場料 500 円ですが、学生さんは無料で聴くことが出来るので受付時には学生証の提示をお願いしております。

受付時にその割合を見ていると学生さんの数が圧倒的に多く、講師の中村拓志さんは若者に大変人気があることがわかり、講演を聴くことが楽しみになりました。

講演は「ふるまいのデザイン」というテーマでした。建築は昔から平面のみならず立面的にもこういう「ふるまい」をして欲しいという思いから造られているという内容でした。

その例として、何気なく歩いたりしていた庭の飛び石は、下を見て欲しい場所、廻りを見て欲しい場所等で石の間隔を変えていたり、雪見障子は座ってこの風景だけを見て欲しいという事で座らないと外を見られないようにしているという事等を挙げていました。その後中村先生が設計した建物をいくつか紹介して頂きながらどういう手法を用いているか教えて頂きました。

東急プラザ表参道原宿では1つ目に屋上に無料休憩所を配し「シャワー効果」で階下の店舗で買い物をしてもらおう手法、2つ目に屋上に立ち寄ってもらう為に出入口に鏡を色々な角度で配し多くの人が入入しているように見せることで入るのを躊躇している人も入りやすくする「ハーメルンの笛吹効果」を利用した手法、3つ目に屋上には「すり鉢状の空間」を設けそこにいる知らない人々でも一体感を味わえる手法を用いていることを教えて頂きました。

狭山湖霊園の管理休憩棟では、座っている時と立っている時とは視線のふるまいが違うという事から、軒を深くし、立っている時は建物の周りの水面とそれに移る木々しか見えないが、座った時には遠くの景色が見渡せるようにしているそうです。それ以外にもたくさんの手法を実例を挙げて話して頂きました。

講演後は質疑応答の時間を設けられており、私は質疑者にマイクを持っていく仕事も行いました。質疑も学生さんが積極的でしかも県外からだと聞いて驚き、私ももっと勉強しないといけないと思いました。今回は受付とマイクを持っていくという仕事もさせて頂いて、違った視点で講演を聴くことが出来ていつも以上に楽しい講演会でした。



(講演の様子)



建築士の日フェスティバル

日 時:平成27年10月18日(日)
10:00~18:00

開催会場:マーサ21

岐阜市正木中 1-2-1 TEL058-295-2222

参加者:6名



(風船作業の様子)



(会場の様子)



お知らせ

訃報のお知らせ

平成27年9月19日

河内美代子さんが永眠されました。

心よりご冥福をお祈りいたします。



編集後記

37号をお届けします。

平成27年度前期の報告となっています。

皆様からの投稿はいつでもお待ちしております。
また、編集参加、問い合わせ、ご意見・投稿・新企画などがございましたら、下記へお寄せください。

編集委員(長瀬)

公益社団法人 岐阜県建築士会

岐阜市藪田南5丁目14番地12号

岐阜県シンクタンク庁舎4階

TEL 058-215-9361 FAX 058-215-9367

<http://www.gifukenchikushikai.or.jp/>

Eメールアドレス kensi578@juno.ocn.ne.jp

※ 女性委員会担当まで宜しくお願い致します



建築士の日フェスティバルに

参加して

報告者:高野 栄子

今年も建築士という職業のPRのためのフェスティバルに参加しました。

幼稚園の園児の書いた夢のおうちの絵を展示し、優秀者には表彰もありました。青年委員会は美濃和紙の紙すき体験を行い、女性委員会は森崎さんを中心に風船配りを行いました。今年はヘリウムガスで風船を膨らませたので、ふわふわと宙に浮く風船を子ども達に配りました。色がいろいろあり悩む子どもさんがみえました。

こうした取り組みを通して少しでも建築士というものを理解していただけると良いと思いました。